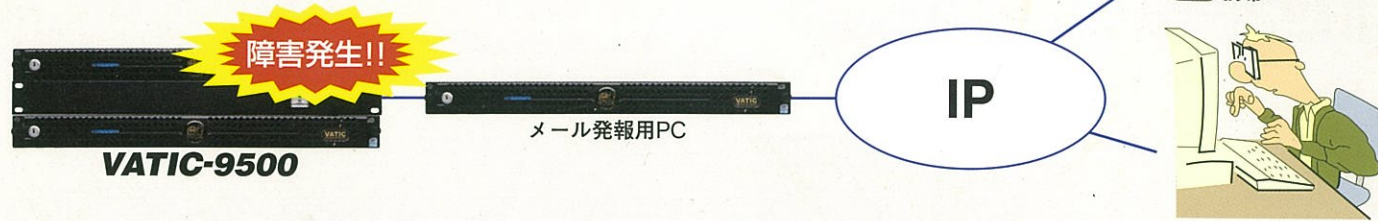


## VATIC-9500 Series Options

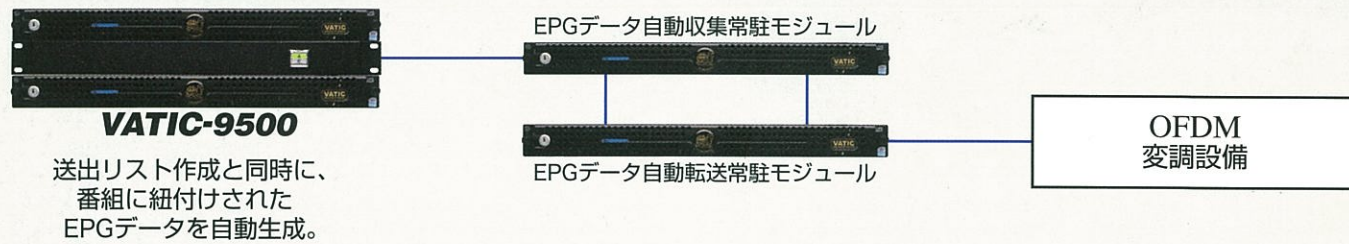
VATIC-9500システムでは、様々なニーズに対応する豊富なオプションを用意しております。

### エラーメール発報システム

VATIC-9500とメール発報PC間は、専用通信線を使用しておりますので、万一、メール発報PCがウイルスに侵入されても、送出システムには影響を及ぼしません。

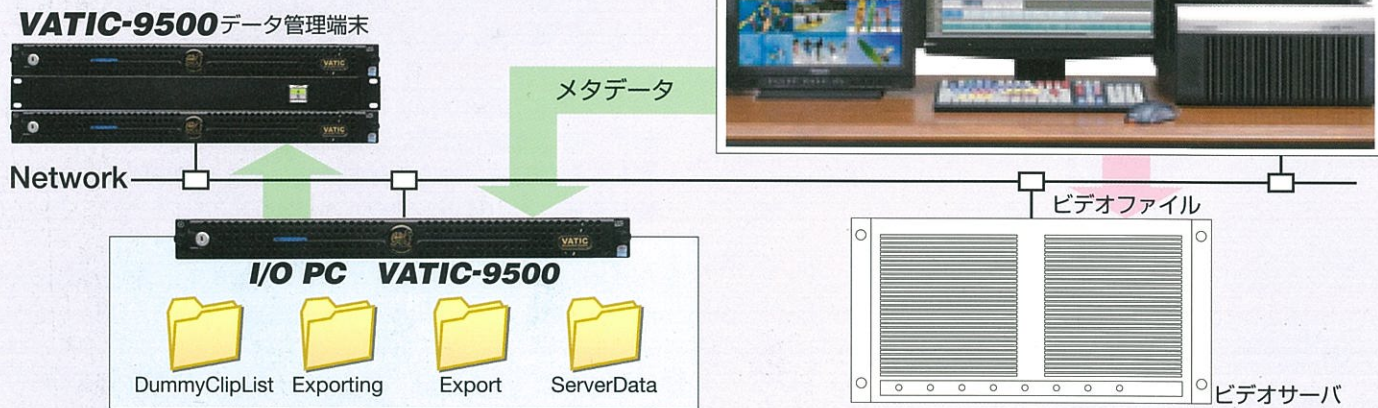


### EPG自動作成・自動転送機能



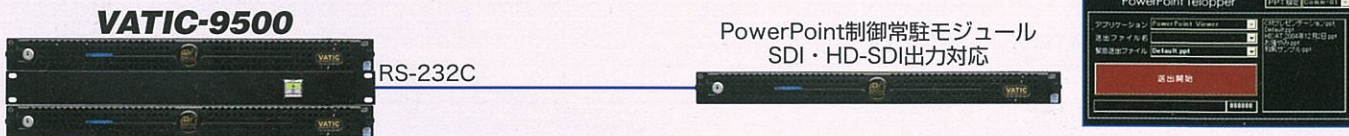
### ノンリニア編集機のメタデータを共有し、編集から送出までをシームレスに管理

ノンリニア編集機とデータ管理端末VATIC-9500の間に、中間PC VATIC-9500を置き、図に示された4種類のフォルダを作業の進捗状況にしたがって各端末から参照します。



### Power Point Telopper パワーポイントをファイルを指定して送出します

PowerPointファイルを送出スケジュールに組み込みます。



Video Tech Laboratories

## 番組自動放送装置 VATIC-9500s.i. Series



VIDEO TECH LABORATORIES INC.

〒410-0822 静岡県沼津市下香貫島郷2761-1  
TEL 055-932-8186  
FAX 055-932-8190  
URL : <http://www.videotech.co.jp>

VIDEO TECH LABORATORIES INC.



VATIC  
Automation System

### VATIC-9500 シリーズの特徴

VATIC-9500は、完全に二重化された送出系統で運用され、いずれかのシステムに障害が発生した場合、瞬時にミラー機側に制御系統を切替えることで、突発的な事故に対応します。

VATIC-9500本体は非常にシンプルに設計されており、ハードウェアの制約を最小限に抑えております。そのため、アップグレードやカスタマイズはほとんどの場合アプリケーションの変更だけで対応できます。将来のOSの変更、接続機器の変更、機能アップなどに対して、ハードウェアを交換する必要がありません。

一日あたり最大8,600イベントの送出に対応します。

機器はスイッチャー、ビデオサーバ、DVD、VTR、ライブ映像、テロップなどを混在して使用できます。スイッチャー、DVD、VTRなどは、各メーカーの制御プロトコルを標準で搭載しておりますので、接続機器の変更はシステム設定画面で簡単に変更できます。

ステータスモニターパネルにより、システムの運用状態やネットワークを詳細に監視できます。

クリップはID名で分類管理され、番組、CM、フィラー、タイトルなど希望するクリップだけを一覧表示します。表示されたクリップをクリックするだけで、ID名、クリップタイトル、キューアップ点、デュレーションが一括して転送され、送出リストに組み込まれます。(分類項目は局の目的に合わせ10項目まで簡単に設定変更できます)

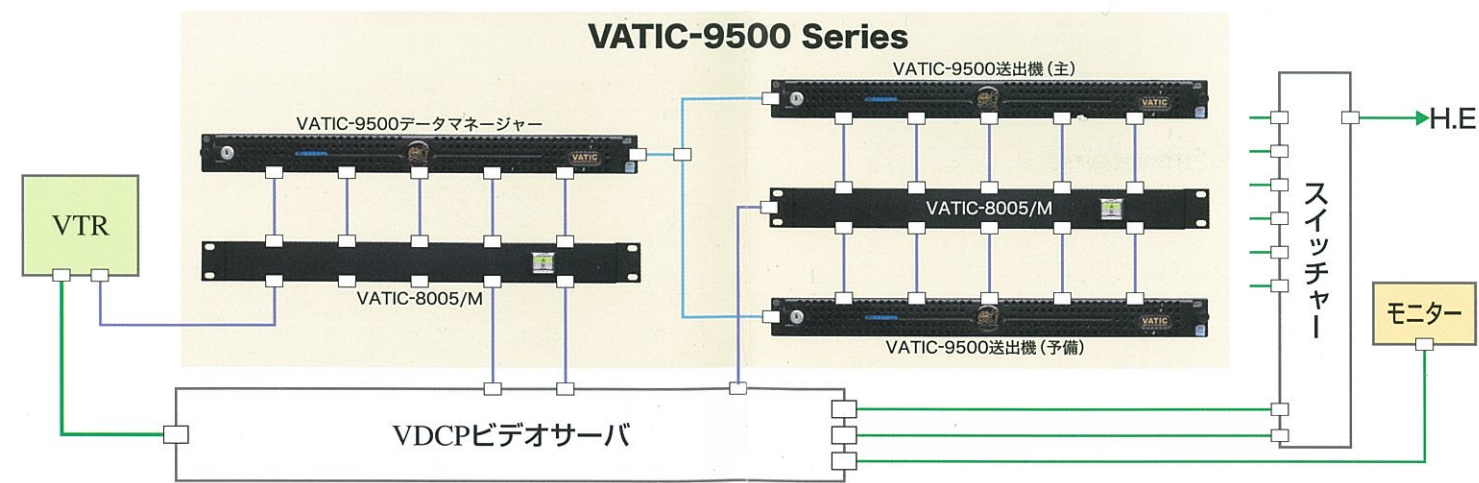
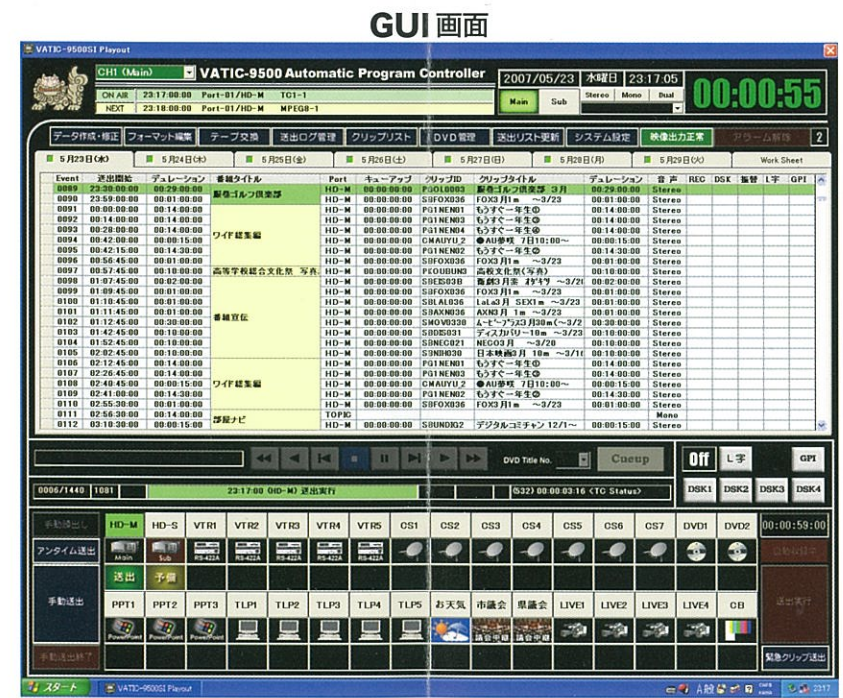
一週間先までの送出リストを参照し、使用されているクリップの削除操作を行うと、削除確認メッセージを表示し、不注意による削除を防止します。

送出リストは日付で管理され、専用のカレンダーで視覚的に操作します。通常のリスト作成は類似のリストを呼び出し、これに修正を加えて登録するケースが多いことから、充実した送出リストのコピー機能を有しております。登録するデータ容量には実用上の制限はありません。

送出リストを番組枠として取り扱うことができます。番組枠は、フォーマットとして登録しておき、必要に応じて呼び出して送出リストに組み込むことができます。

送出事故原因の90%以上を占める送出データの入力ミスを防止するため、強力なデータ自動判別機能を組込んでおります。(データ変更モードとデータ検証モードの二重チェックを行います)データにミスが発見された場合、誤り個所のデータが赤系で着色され、データミスの総数が表示されます。また、送出リスト上にインジケータを設け、送出リストの状態を常時監視できます。

# Main Features of VATIC-9500 Series



### VATIC-9500 シリーズの特徴

リスト作成時にエンコードされていないクリップの放送枠確保に関しては、ダミークリップ入力機能が対応します。また、サーバ上に存在しないクリップが指定されている場合、送出リストのクリップID欄が着色表示されエンコードを促します。送出リスト上にインジケータにも注意レベルの表示を行います。

一日分のリストから、番組タイトル、クリップID、クリップタイトルなど任意の項目を指定して検索できます。検索結果からデータを一括変更し、送出リストに転送します。(1日あたり2,000イベント以上で所要時間数秒)クリップを1行づつ探しながら変更する場合に比べて、変更クリップの見落としがなくなり、大幅な入力作業の省力化が図れます。

議会中継やスポーツ中継などアンタイム送出は、手動送出モードとアンタイム送出専用フォームの2種類のモードがあります。サーバやDVDなど、デュレーションが登録されている素材は、送出終了と同時に指定素材に自動復帰しますので、ライブ中継のワンマンオペレーションも可能です。

ライブ映像やVTRなどサーバ以外の素材を送出しながら同時にエンコードする同時エンコードが可能です。

放送確認書発行機能は、期間を指定し、CMや番組毎に検索し結果を印刷、またはCSVファイルとして出力します。

送出ログは、送出クリップの状態、データ変更、手動割り込みなど数十種類を詳細に記録します。また、当日の終了時に日付名のファイルで登録されますので、後日障害などの解析に活用できます。

CM送出時には、自動的にキーヤーを制御し、局ロゴなどを強制的にOFFします。(キーヤーは別途)

専用のユニットの追加により、ヘッドエンド音声切替やタリー出力をサポートします。

